



# 南中だより

平成26年12月15日  
東久留米市立 南中学校  
校長 川上 智

## 南中地区青少協 もちつき体験とあそび 子供たちの豊かな人間性や社会性をはぐくむ

子供たちが、社会のルールやマナーにのっとった手段や方法によって行動することができるようにするためには、活動や経験によって得られる技能や体感などの、生きた知識を体得することが欠かせないと言われています。

また、仲間と共に活動することで、対面でのコミュニケーションを通じて対人関係能力を培うことができるだけでなく、「仲間には負けないようがんばるぞ」と良きライバルとして互いを高め合ったり、「仲間と一緒にがんばろう」と協力して知恵を出し合ったり、励まされ慰められたりすることなどを通じて、一人きりでの経験では味わえない多くの物事を学ぶことができます。

さらに、異年齢集団の活動においては、年上の子供が年下の子供に頼られたり、年下の子供が年上の子供に助けられたり守られたりする体験を通じて、自己を相対化し客観的に見つめる力を培うとともに、自分の存在意義を実感し、集団活動への意欲を更に高めることができるとも言われています。

12月7日（日）に、南中地区青少協の「もちつき体験とあそび」が、五小で行われました。小学生や幼児が、大人と一緒にたくさん来ていました。そこに本校の生徒がボランティアとして参加し、もちつきを手伝ったり、小さな子供たちの竹馬やこま回しなどの遊びの面倒をみていました。休むことなく臼の中のもちをかえす生徒、小さな子供の手を取って上手くできるコツを教えながら一緒に遊ぶ生徒、前日準備を含めるとその数は100名を超えています。南中の学校生活の中では、時には少し頼りなく見える生徒も、ここでは自らの襟を正して立派なお姉さんやお兄さんとして活動していました。

私が一人の生徒に「ご苦労様」と声をかけると、「楽しいです」と満面の笑みをうかべて応えてくれました。小さな子供から頼られて自尊感情がくすぐられたのでしょうか。「自分も価値ある存在なんだ」と自己肯定感がくすぐられたのでしょうか。何が「楽しかった」のか、それは分かりません。しかし、ここに参加した南中の生徒は、机上の学習だけでは学ぶことのできない、生きていくために必要な大切な勉強をすることができたと思っています。それは、自らを律しつつ仲間とともに協調して、小さな子供たちを思いやりながら行動する、豊かな人間性や社会性です。

当日、都合がつかなかったり、部活動や体調の関係で参加できなかった生徒も多かったと聞いています。南中の子供たちには、進んでこうした機会を見つけ経験をたくさん積み、次代を担う自立した青少年になっていって欲しいと願っています。

最後に、ボランティアを募集した当初は集まり具合があまりよくなく、何度か声をかけたところ、受験の準備で忙しい中、多くの3年生が参加し当日活躍してくれました。本当にありがとう。

## あいさつ運動始まる

生徒会本部と専門委員会を中心に、12月9日から18日まであいさつ運動が行われています。本校の目指す生徒像の一つが「あいさつ、返事がしっかりできる生徒」です。普段から教師も率先してあいさつに努めています。

あいさつは人の心を和やかにします。外国旅行をしていて、道を譲るとき、買い物をするとき、食事のときとあらゆる場面で、そして笑顔で日本語でいう「こんにちは」「お元気ですか」「ありがとう」「どういたしまして」等々の言葉を交わす経験を何度もしました。とても清々しい気持ちになります。進んであいさつをしたり、人の行為に素直に言葉で感謝することは、生きていく上で大切なことですし、また、人と人との関係も和やかにします。子供たちが家庭はもとより、地域の中でも実践してくれればと思っています。

## おめでとう

東京都明るい選挙ポスターコンクール	優秀賞		
	第2学年	三沢	苑
薬物乱用防止ポスター	東京都選考 優秀賞		
	東久留米市選考 最優秀賞		
	第3学年	齋藤	瀬奈
薬物乱用防止標語	東久留米市選考 最優秀賞		
	第1学年	豊田	颯太
	第1学年	君和田	駿
人権尊重推進月間児童・生徒作品	ポスター部門	教育長賞	
	第3学年	中須賀	広奈

近日中に、「税についての作文」表彰、「社会を明るくする運動 作文コンテスト」表彰が行われます。次号でお知らせする予定です。また、人権尊重推進月間児童・生徒作品の優秀賞及び努力賞は学校に届き次第お知らせします。